

# 那珂川町図書館

## オススメの1冊

『南谷真鈴 冒険の書』 南谷 真鈴／著 山と溪谷社 【786.1 計】

今月は来月11月4日に迫りました講演会にお招きする、南谷真鈴さんの著書を紹介いたします。

日本で生まれ、マレーシア、中国、香港と居住地を変わっていった著者が、山に登り始めたのは香港にいるときだそうです。香港の山は全て登ったといい、その登山経験で多くのことを学んだ著者は、エベレストに登る決意をします。

そうして、高校3年生で日本に帰国してからの2年弱で次々と山に登り、記録を打ち立てていきます。

著者が成し遂げたものの一つに、日本人最年少のセブンサミッターとなったことが挙げられます。セブンサミッターとは、七大陸最高峰（アジア・ヨーロッパ・北アメリカ・南アメリカ・アフリカ・オーストラリア・南極大陸で最も標高が高い山）に登頂した者のことをいいます。

本書は、その七大陸最高峰の登山体験を中心に、著者がどのような意志や情熱のもとに登山に挑んだのかが綴られています。

まず、著者は、高度順応してエベレストに登るという計画を立て、その足がかりとして、標高約7000mの南米大陸最高峰アコンカグアを選びます。登山に必要な費用は全て自分で賄わなければならない、学生生活を送りながら、スポンサーを探します。そして、スポンサーを得た著者は、高校生の冬休みにアコンカグア登頂を成功させます。厳しい環境にも関わらず、登頂した著者はエベレスト登頂が近づいたと心の中で嘸み締めるのでした。

死の恐怖を経験しながらも、エベレスト登頂までにいくつかの山に登った末、念願のエベレスト登山に挑みます。しかし、世界最高峰のエベレスト登山では、体調不良、仲間の脱落など、過酷な体験もすることになります。過酷な登山、死の恐怖に直面しながらも、登山を続けるのは何故なのか、詳細はぜひ本書をお読みになっていただきたいと思います。

もう1冊の著書『自分を超え続ける 熱意と行動力があれば、叶わない夢はない』も図書館で所蔵しています。こちらも併せてお手にとってみてはいかがでしょうか。

『世界冒険アトラス』 レイチェル・ウィリアムズ／文 徳間書店 児童書 【290 ウ】

イラストレーターの絵により世界を冒険することもできます。大陸ごとにいくつかの場所が紹介されており、その場所の特徴的なことがイラストとともに説明されています。また、本書では絵さがしクイズの要素もあり、各地を旅する2人の旅行者や巻末の絵を探して楽しむこともできます。色彩豊かでユニークなイラストに、ページをめくることが楽しくなる1冊です。